

からがらす

令和6年6月

62号

たまねぎ省力機械化セミナー
機械展示会開催!!



佐城管内のたまねぎ生産者等を対象とした「佐城エリアたまねぎ省力機械化セミナー・機械展示会」を2月27日、佐城農業指導者連絡協議会、佐城農業改良委員会主催で開催しました。県内の生産者や農業大学校学生、JA、農業関連の行政担当者ら82名が参加し盛況となりました。

本セミナーは、機械導入により農作業を軽労化・省力化し、1経営体あたりの生産規模拡大、管内の栽培面積拡大につなげることを目的とし、鉄製の大型コンテナを使った収穫による時間短縮の調査結果や、ドローンを活用した防除方法について紹介しました。

併せて、補助事業に関する研修や、機械展示も行ったことから、参加者からは「実際に機械を見たり、事業関係の話を聞いたりすることができてよかった」との声が聞かれました。セミナー後にも、参加者から補助事業を活用し経営規模拡大に取り組みたいとの相談も寄せられました。また、JAさが広域選果場では鉄製大型コンテナと強制通気システムが導入され、根葉付きの状態での出荷受け入れが始まっています。

今後もJAや関係機関と連携しながら、たまねぎ栽培面積拡大に向けて取り組んでいきます。

機械化 体系



葉切り



根切り



拾い上げ
(ピッカー)



鉄製コンテナ



タマネギ関連の 補助事業を 紹介します

県では市と連携してたまねぎの作付面積拡大を図るために必要な省力化機械等の導入に対する支援を行っています。

例えば収穫作業の省力化体系の確立を図るため、県の補助事業である「さが園芸888整備支援事業」を活用して収穫機、葉切り機、根切り機、デガー、ピッカー、コンベア、圃場内自走式運搬車等を導入され、規模拡大に取り組まれています。

また、鉄製の大型コンテナ（鉄コン）を用いた省力化体系に注目が集まっており、これにより労働力不足が解消され、産地が拡大することを期待しています。

なお、補助事業の活用を検討される際は受益面積等の採択要件、補助対象機械、補助率などの事業の詳細を市役所の担当部署へお問合せください。

第32回佐賀北部地域おこし フェスティバル開催

若手農業者よ集まれ！未来の中山間へ

佐賀北部では令和6年2月20日に地域の農業者が中心となって地域の連携を図ってもらうきっかけづくりを目的に、標記フェスティバルを開催しました。（株）農テラスの山下弘之氏による「中山間の強みを活かした農業経営の展開」と題した講演や新品種のお米「にじのきらめき」を使った昼食懇談会、農業者が作った農産物やプリン、タルト等6次化商品が当たるお楽しみクイズ大会も行われました。当日は、70名程の参加者で、地域の若手農業者や小さな子供連れのご夫婦の参加もあり、にぎやかな交流ができ、今後の活発なコミュニケーションによる地域の活性化が期待されます。



アスパラミニトレーニング ファームが設立されました

JAさが中部地区アスパラ部会では、ミニトレーニングファームを設立し、新たな担い手の確保と育成に取り組む仕組みができました。

ミニトレーニングファームとは、研修用ハウスで、先進農家のトレーナーの指導を受けながら栽培技術の習得と実践を目指す研修システムです。令和5年8月に、アスパラ部会、JA、市、県で「佐賀市アスパラ部会ミニトレーニングファーム運営協議会」を設立し、令和6年1月には補助事業を活用して佐賀市鍋島町に研修用ハウスが竣工し、第1期生1名の研修がスタートしました。

今後の新たなアスパラガスの担い手の育成が期待されます。



● 新規課題の紹介 ●

新規露地野菜産地の育成

焼酎原料用カンシヨは、実需からの生産ニーズが高く、販路も明確であることから、佐賀県における普及拡大が期待されています。

管内でも、令和5年から焼酎原料用カンシヨの試験栽培が始まり、収量や生産コスト及び労働時間等について調査した結果、カンシヨの導入により、稲作に比べ所得向上が見込めることが明らかとなりました。

今後、普及拡大を図るため、施肥体系の確立や排水対策の徹底を進め、栽培面積の拡大を図る予定です。



スマート農業技術の導入を見据えた平坦部水田での果樹団地整備

ここ数年、平坦部の水田等を転換した果樹団地が県内各地で整備されています。

平坦部での果樹栽培は、山間地と比較して作業性に優れ、ドローン防除等のスマート農業技術を活用する適地にもなります。

本課題では、新たな技術の導入と作業性に優れた園地利用によって稼ぐ農業を実現する次世代の担い手を育成し、産地の維持・発展を支援します。



地域特性を活かした露地品目の導入による複合経営の確立

佐賀北部山間部では、夏季冷涼な気象条件を活かし夏秋ピーマン栽培等に取り組みられています。近年、所得補完として、秋どりタマネギと春どりブロッコリーの栽培に取り組んでいます。本課題では、栽培技術の向上と面積拡大を図ります。更に、多様な複合経営モデルを作成し、農家所得の安定・向上を目指します。



技術力・経営力の向上による花き農家の経営発展

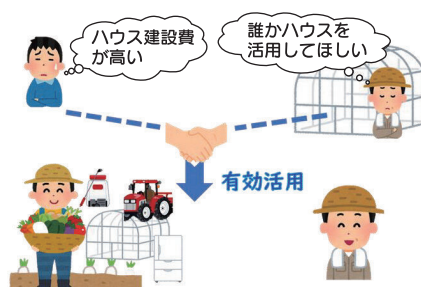
花きは新規参入者が少ない一方で、後継者の就農定着率が高いことから、新規就農者の確保に向けた取組と共に既存農家への支援が重要となっています。

近年は気象災害や資材費の高騰等により、経営に困難な状況が続いています。そこで、個別の課題に応じた支援を技術・経営の両面から重点的に取り組むことで、花き農家の経営発展を目指します。



空きハウスや加温機、トラクター等の情報を集めています！

「あなたのハウス等を未来につなげていきませんか？」
資材費の高騰によって園芸ハウスの新たな整備や初期投資にかかる費用が増大し、新規就農者等の大きな負担となっています。使用しなくなった空きハウスやトラクター、加温機等を「売りたい」、「貸したい」という希望のある方は、ぜひ振興センターへ情報提供をお願いします！



ニユーファーマー塾開講！

新規就農者や青年農業者等を対象に、農業経営に必要な基礎的知識や技術を学ぶニユーファーマー塾（全6回）を今年度も開講します。第1回は7月18日（木）14時～収入保険・災害対策・補助事業について学びます。受講希望の方は、7月12日（金）までに振興センターへお申し込みください。

令和6年度佐城農業振興センター職員紹介

令和6年4月1日現在



平副センター長



豆田センター長

◇ 普 及 課 ◇



野中普及課長



【土地利用型作物】
百武係長



【経 営】
梅下係長



【果 樹】
吉田係長



【野菜・花き】
富永係長



【土地利用型作物】
丹下



【土地利用型作物】
本田



【経 営】
田村



【果 樹】
青木



【野菜・花き】
月足



【野菜・花き】
前島



【畜 産】
松尾



【土地利用型作物】
本村



【経営(庶務)】
伊藤



【果 樹】
澤山



【野菜・花き】
原田



【野菜・花き】
岡



【野菜・花き】
串崎



児玉

佐賀県農業大学校養成部入試担当
電話 0952-45-2144
農業大学校ホームページ、農業大学校
Youtubeチャンネルもご覧ください。



農業大学校
Youtube
チャンネル



農業大学校HP

◇ 北部普及課 ◇



手塚北部普及課長



【野菜・花き】
陣内係長



【野菜・花き】
迎



【土地利用型作物】
長尾



【野菜・花き】
中島



【野菜・花き】
西山

農業大学校学生募集！

佐賀県農業大学校では令和7年度入学生を募集しています。また、農大を紹介する「オープンキャンパス」は、7月7日（日）と8月24日（土）に開催をします。

ご家族やお知り合いの方で興味がある方は、直接、農業大学校にお問い合わせください。

お問い合わせ先

佐賀県農業大学校養成部入試担当
電話 0952-45-2144
農業大学校ホームページ、農業大学校
Youtubeチャンネルもご覧ください。

「第26回全国農業担い手サミットinさが」が開催されます！

令和7年1月22日（水）～23日（木）に佐賀県では初となる「全国農業担い手サミット」を開催します。

本大会は意欲ある農業者が一堂に会し、農業経営の現況や課題についての認識を深めるとともに、相互研鑽・交流を行うことを目的に、平成10年度から毎年、開催されています。

本県でも全国から1000名を超える農業の担い手が集い、2日間にわたり交流が行われます。

この半世紀に一度しかない佐賀大会の機会。ぜひ皆さん参加してみませんか。

【募集開始：令和6年8月】

磨き 高め

未来に継（つ）なげる日本農業
集え！担い手 維新の地 佐賀へ！

